

ふるさと

松戸市立栗ヶ沢中学校 校長

きくち しげのり

菊池 滋訓

「育った所、必ずしも家庭ではない。心を育てられた所が、家庭である。学んだ所、必ずしも母校ではない。よき師やよき友に巡り会えた所が、学校である。生まれた所、必ずしも故郷ではない。心を留める所が、故郷である。」

この文は、どんなに豪華な家に住んでも、どんなに立派な校舎で学んでも、どんなに美しい街並みで暮らしても、最後に行き着く所は、心を育ててくれた所であると教えています。三者がそれぞれの立場で連携しながら子どもたちを育てていかなければ、家庭も学校も故郷も「ふるさと」として心に宿ることなく大人になってしまうということでしょう。

栗中に着任して3ヶ月が過ぎますが、小金原地域には三者で子育てを行っていかうという雰囲気を感じています。特に、「地域の子は地域で育てる」という地域の方々の思いに様々な場面で触れることができ、その度に深く感謝しております。このことは、子どもたちの心の中に「ふるさと」をしっかりと宿すことにつながっているに違いありません。

子育ての道は、喜びの道であると同時に、迷いの道、悩みの道でもあります。その道を、保護者の方々だけでなく地域の方々とも、喜びや苦労を分かち合いながら子どもたちの心を育てるために、共に歩ませて頂こうと考えております。今後も引き続き、栗中への地域の方々のご理解とご支援をよろしくおねがいします。